



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Build The Future with Action and Vision

築け未来を行動力と先見の眼で

1996~97年度・国際ロータリーのテーマ/ルイス・ピセンテ・ジアイ会長

◎本日の例会

10月18日/第483回例会

◎卓 話 イニシエーションスピーチ

「社員食堂経営40年とロータリークラブ」

当クラブ会員・㈱ニッコトラスト代表取締役社長 牧 野 吉 郎 君

◎先週報告

10月11日/第482回例会

◎会長報告

千代田分区IMに対するご協力ありがとうございました。

◎千代田分区代理挨拶（沖分区代理）

皆様のご協力により千代田分区IMは大成功でした。ガバナーはじめ多くの方々から高い評価をいただきました。

◎出席委員会報告（後藤委員長）

9月の修正出席率は86.8%でした。10月の出席率向上を期待します。

◎10周年実行委員会報告（青野10周年祝典登録グループリーダー）

12月6日のクラブ創立10周年記念祝典への出席は11月1日までにお知らせ下さい。会員の全員参加とご家族の多数の参加をお願いします。

◎雑誌委員会報告（小原健委員長）

「ロータリーの友」10月号の読みどころとして、「感激の東京クラブ」（たてがき8ページ）、「職業を通して社会に貢献」（よこがき8ページ）などの紹介がありました。特に後者は、職業奉仕活動の事例として参考になります。

◎慶事披露●誕生日祝/松原秋夫君（10月6日）、渡部一元君（10月8日）、廣瀬哲久君（10月9日）、鍋島晴夫君・田中 武君（10月11日）、吉岡琢磨君（10月13日）、加藤昌明君（10月16日）

●100%出席/馬場一廣君・入沢頼二君・田中 武君・吉田用親君（10年）、小杉眞史君（1年）

◎出席報告●会員68名・出席45名・欠席23名 ビジター（9名、敬称略・順不同）/Unterwurzacher（Austria）、鈴木健一（東京立川RC）、E.ウルナー（東京神宮RC）、松田 力（東京世田谷南RC）、矢野 弾（東京世田谷RC）、吉野正樹（東京日本橋西RC）、山田和之（東京中央RC）、フェウベル、保科 正（以上東京南RC）

●10月4日第481回例会（千代田分区IM）会員68名・出席61名・欠席7名



順不同・敬称略

10月11日/27件104,000円

本年度累計 778,041円

多額のご寄付を有難うございました。

吉野正樹（東京日本橋西RC）/先週の千代田分区IMでは田辺PG、沖分区代理はじめ皆様には何かと御指導を頂き有難うございました。保科 正（東京南RC）/IMでは大変お疲れさまでした。沖 宏之/千代田分区IM皆様のご協力で無事終了しました。田辺賢三/立派なIMでした。皆さん有難う。河原勢自/IMが成功裡に終了しました。会員のご協力のたまものです。入沢頼二/クラブをあげてのIMが盛況裡に終了しました。川鍋二郎/IMの成功を祝して。吉岡琢磨/河原会長昨日はFAX有難うございました。宮本正祥/SAAの皆様IMではお疲れ様。大日方真/IMのSAA委員会へのご協力ありがとうございました。後藤信夫/IMお疲れ様でした。石坂二郎/IMの企画実行共に美事でした。実行委員会に成功のお祝いを申し上げます。宮川弘信/IMという素晴らしい経験をさせていただきました。関 征春/IMみなさんご苦勞様でした。小杉眞史/1年間の100%のごほうびを戴きました。IMでは皆様のご協力によりインターネットの実演を無事終了しました。有難うございました。鍋島晴夫/誕生祝ありがとうございました。佐藤定宏/IMを無事終えることができ皆様ご苦勞様でした。新保國彦/IMの成功を祝して。保森 登/IMは勉強になりました。山下忠治/沖さんはじめIM関係の皆様お疲れ様でした。鈴木重徳/IM急な海外出張で欠席しました。小湊雅亮/IM皆様ご苦勞様でした。廣瀬哲久/IM大成功。皆様ご苦勞様でした。田中 武/IMお疲れ様でした。今日誕生日です。誕生祝ありがとうございました。柴田尚毅/祝巨人優勝！馬場一廣/3人目の孫が生まれました。また男の子でした。谷村義雄/IMの成功を祝します。ニコニコ大忙しで有難う存じます。

◎千代田区分IMパネルディスカッション「ロータリーの今日的課題」

10月4日に行われた千代田区分IMでのパネルディスカッションについて、吉岡琢磨、相澤成憲の両会員に書いていただきました。このパネルディスカッションでは、馬場一廣、吉田用親の両会員がモデレーターをつとめ、田辺賢三パストガバナーが問題提起をされ、第1部、第2部それぞれ5名のパネラーが活発な意見交換を行いました。渡邊 治会員も第1部にパネラーとして参加しました。

「第1部 ①ロータリー思想の原点と現在の潮流」

ロータリー思想の原点は、職業奉仕を中心とする個人奉仕であったが、最近では活動の比重が集団による大型奉仕に移行してきている。1923年にRIで採択された決議第34号では、「各ロータリークラブは、奉仕活動を行うに当り、完全な自主性を有し、会員個人としても団体としても社会奉仕を行って良い」としているが、社会奉仕活動は、会員の個人的努力を求める活動の方がロータリー精神に合致すると付言している。パネラーからは、クラブにおける社会奉仕、職業奉仕とは何を指すのか十分に理解されてない、また、個人奉仕と団体奉仕は、バランスの問題で、相互に発展させていくべきだという意見も出された。まだまだ問題が残されているようである。もう一度原点に戻って、都市型のクラブでは親睦の意義を明確に出した方がいい、という発言もあった。

RIは、個人の奉仕を否定している訳ではない。団体の奉仕に重きが置かれつつあるのを問題にしているのではないか、例会のあり方を考えるべきではないか、などいろいろな意見が出された。最後に、経験のあるロータリアンと若いロータリアンの間のギャップや感性の違いを知り、もっとお互いにコミュニケーションを計ることが大切であるという意見が出て、このセッションは終了した。

「第1部 ②職業倫理と日本の企業風土」

最近、住専問題や金融問題に限らず各種の不祥事が多発している。これは企業倫理の欠如が原因であり、企業行動における倫理の問題が世を挙げて厳しく問われているのは当然である。企業を動かしているのは、経営者、社員一人ひとりなのだから、企業の倫理的責任は、帰すところ経営者、社員の責任にはかならないと言うのが、ロータリーの基本的考え方である。経済活動と倫理とは、どのような関係が望ましいか。「第1回経済倫理世界会議」において、具体的な倫理基準を社員に示す事が現代の企業活動において不可欠の条件であると発表されたが、今こそ職業倫理の確立に積極的に関わり、努力する事が必要だと思われる。

最後に、私は、ポールハリスが唱えている、「今一度

地道に足元を見つめ、ロータリーに参加し、綱領を見直す事が大切だ」ということの重要性を改めて感じました。
(以上吉岡琢磨記)

「第2部 ①ロータリアン数停滞の原因と対策」

さまざまな停滞の原因が挙げられた。①ロータリークラブの活動が一般の人達に理解されておらず「エリート集団」と誤解されているのではないかと②日本ではロータリークラブは米山梅吉氏の提唱でスタートしたが、その時点ではエリート集団であり、参加することが誇りでもあったが、たしかにその活動は一般には殆ど知られていない。職業奉仕、社会奉仕という考え方は、欧米では理解されているが、日本でははなかなかなじまない面もあるのではないかと③ロータリークラブはある程度時間的なゆとりのある中で、今日まで発展してきたが、現代は忙しくて例会にでるだけで精一杯という状態が大半で、皆が心を開けない面もあるのではないかと④増強は確かに大きなテーマだが、日本では地域社会の理解という点でいまひとつである。しかしだからといってハードルを低くしても増強につながらない点も考えなければいけない。

退会防止についてもさまざまな意見が出された。ロータリークラブに同化できない古参者と新会員、企業規模の差などの壁があり、それを乗り越えないといけない。新会員への心くばりや、ロータリークラブの用語、表現を親しみやすくする必要もある。「ロータリーの友」8月号に、入会をためらう理由として①出席が厳しい②義務に対する抵抗感があると指摘したレポートがあった。退会防止は親睦活動に尽きる。10年ひと昔というが、現代は時間の経過が速い。シニアアクチブが多くなっているが、職業分類の後継者充填への努力が必要である。

「第2部 ②ロータリークラブの自主性」

ロータリークラブのテーマ「会員増強」の問題にしても、増やさなくても良いと考えるクラブもあるはずだ、それを貫くのも自主性だ。都市型クラブの在り方として、地域あるいは自分にあったテーマを選ぶのも自主性だ。

日本は農耕民族、欧米は狩猟民族、その本質的な差を考えるべきで、欧米からの乳離れが必要だ。寄付行為が多すぎないか、上意下達過ぎないか、個々のロータリークラブこそRIの基本であり、個々のクラブのあり方に問題がある。例えば地区大会の剰余金は全額寄付にまわしているが、拠出したクラブへ還元してクラブ活動に使わせても良いのではないかと。何もしない自主性もある。

形式主義になりつつあるのではないかと、という田辺賢三パストガバナーの指摘は大きな警鐘だ。自主性のテーマを各クラブへ持ち帰り十分討議することによって、クラブの活性化が図られるはずだ。
(以上相澤成憲記)

◎次週予告

10月25日/第484回例会

◎卓話予定 原子の日(10月26日)を前にして

——原子力発電の現状——

日本原子力発電㈱ 技術顧問 板倉哲郎氏

東京新南ロータリークラブ

会長：河原勢自 副会長：保森 登 幹事：荒木昭文

〒107 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日 12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

〈会報委員〉

山下 忠治、大村 富俊、伊部 和夫、
大日方 真、柴藤清三郎、相澤 成憲、
島田 昌雄、村山 公士、川鍋 二郎、
関 征春、宮本 正祥、岩瀬 秀郎

(編集担当順)